

令和3年犯罪抑止目標について

1 犯罪抑止目標

目指すもの	安全・安心な滋賀の実現
スローガン	滋賀県は絶対に犯罪を許しません！
犯罪抑止目標	「治安の良さを実感できる社会を目指して！」 ～県民の心と力をあわせて！アンダー5,500件～ ～特殊詐欺被害 80 件以下、住宅侵入窃盗被害 150 件以下～

◆◆◆ 犯罪抑止目標の設定理由 ◆◆◆

(1) 犯罪減少率による刑法犯認知件数の算定

令和2年の犯罪減少率は約10.8%となった。令和2年の刑法犯認知件数6,039件に、現在の犯罪減少率約10%を基準として計算し、抑止目標を5,500件と設定。

(2) 他県との比較

人口同規模県(奈良、愛媛、山口、長崎、沖縄)の平均5,199件(暫定値)で、愛媛県に多い。一方、大都市圏に隣接している同様の立地にある県(奈良、栃木、群馬、三重、岐阜)の犯罪率で比較すると、平均が46.8件で滋賀県の犯罪率(42.5件)は最も低い。

※犯罪率 人口1万人に対する刑法犯認知件数

(3) 特殊詐欺被害、住宅に侵入する窃盗被害の目標設定

県民の関心が高く、体感治安に影響のある特殊詐欺や住宅に侵入する窃盗被害に関して、具体的な数値目標を設定し、取組の推進を図る。

○ 特殊詐欺被害 80 件以下

令和2年は令和元年の認知件数144件と比較して大幅に減少した。よって、令和3年の目標値は、さらなる減少を目指し、令和2年の88件の約10%減(全刑法犯認知件数の減少率)で設定し、80件以下と設定。

○ 住宅侵入窃盗被害 150 件以下

令和2年の住宅侵入窃盗被害は、令和元年の認知件数244件から減少したが、目標は未達となった。過去2年の目標は認知件数から乖離したものであったことから、令和3年の目標は令和2年の190件の約20%の減少を目指し、150件以下と設定。

2 重点対策の指定

(暫定値)

	項 目	設 定 理 由
1	特殊詐欺被害防止	<p>○ 被害は減少傾向であるが、高齢者を中心に被害が発生しており、最重点課題として様々な抑止対策の推進が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害件数 88 件(前年比△56 件) ・被害額 約 1 億 5,100 万円 (前年比△約 1 億 9,800 万円) ・高齢者被害の割合 <ul style="list-style-type: none"> 被害件数 60 件 (約 68.2%) 被害額 約 1 億 900 万円 (約 71.9%) ・ 1 件当たりの被害額約 172 万円
2	住宅に侵入する窃盗被害防止	<p>○ 住宅に侵入する窃盗事件は、家人が犯人に遭遇するなど危害を加えられる恐れがあり、県民が不安に感じている割合が高く、さらに無施錠での被害率が高いことから、施錠の徹底を呼びかけ、無施錠をなくす取組が必要。</p> <p>※住宅侵入盗 190 件うち無施錠 66 件 (約 34.7%)</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き巣 131 件うち無施錠 35 件 (無施錠率 約 26.7%) 忍込み 46 件うち無施錠 22 件 (無施錠率 約 47.8%) 居空き 13 件うち無施錠 9 件 (無施錠率 約 69.2%)
3	子ども・女性対象犯罪被害防止	<p>○ 子どもや女性に対する性犯罪や声かけ等の犯罪の前兆となる事案は、県民に関心が高く、事件が発生すれば、体感治安に大きく影響する。そのため、関係機関等と連携した対策が必要。</p> <p>※性犯罪(強制性交等、強制わいせつ、痴漢等)</p> <p style="text-align: right;">192 件 (前年比+12 件)</p> <p>性犯罪の前兆事案 603 件 (前年比△186 件)</p>